

慶應義塾大学教養研究センター
極東証券寄附講座「生命の教養学」一般公開ゼミ

“サイエンス・カフェ” 7
人間と宇宙のかかわり
- ガリレオから400年 -

表 實

慶應義塾大学商学部(物理学)

ガリレオが初めて自作の望遠鏡で宇宙を眺め、幾つかの重要な発見をしたのは1609年のことである。それから400年、宇宙観測の技術と宇宙からの情報を読み取る能力は飛躍的に進歩し、宇宙に関する知見も大きく進展した。ガリレオはこの他にも、落体の実験・振り子の等時性の発見など、科学的に貴重な数多くの貢献をしているが、その姿勢は終始「実験・観測重視」で一貫していた点が注目される。

この400年間に得られた宇宙に関する知見の大きさとその重みを受け止めてみるために、我々もガリレオに倣って自分自身で観測し、得られたデータを基にして、宇宙の構造を調べるための幾つかの挑戦を試みてみよう。

日 時: 2008年7月12日(土) 14:00 ~ 16:00

会 場: 慶應義塾大学日吉キャンパス

「来往舎」シンポジウムスペース

定 員: 30人程度(申込み不要)

参加費: 200円(資料・飲み物代)

お子様から大人まで、どなたでも参加いただけます。

問合せ: toiawase-lib@adst.keio.ac.jp

045-566-1151

主催: 慶應義塾大学教養研究センター